

広報委員長会議次第

開催日時 令和8年(2026年)9月2日(水)

午後1時30分から

開催場所 生涯学習センターけやき3階視聴覚室

1 開 会

2 市長挨拶

3 議 題

(1) 9月の広報事項

①下水道管路の整備及び維持管理について

(下水道整備課)

②KOUGEI EXPO in KANAGAWA 及び小田原・箱根「木・技・匠」の祭典について

(産業政策課)

(2) 市政への要望事項等

①9月の市政への要望事項等

4 閉 会

《 資料データを市ホームページで公開しています 》

「トップページ」⇒「小田原で暮らす」⇒「行政経営」

⇒「広報・広聴」⇒「広報委員」⇒「広報委員長会議」

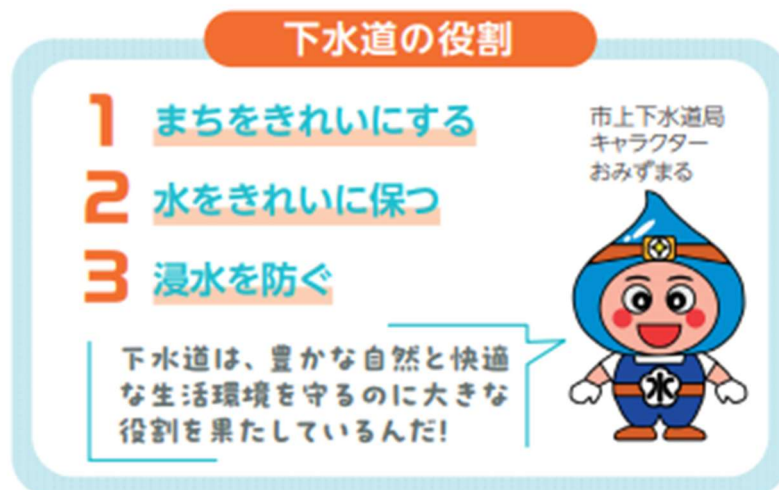


下水道管路の整備及び維持管理について

1 下水道の役割

家庭で使った生活排水は、汚水管渠を通過して終末処理場にて、きれいな水に再生され、川や海に放流されます。また、まちに降った雨は、浸水しないように、雨水渠を通過して川や海に排水されます。下水道が整備されると、生活環境が改善され、快適で美しいまち並みになっていきます。

市では、昭和 34 年（1959 年）から下水道事業を実施しており、都市の健全な発達や公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全などを目的に、汚水と雨水を別々に排除する分流式により、市街化区域の整備を進めています。



2 新たな整備の推進

令和 6 年度（2024 年度）から令和 8 年度（2026 年度）までの 3 年間は、下水道が未普及となっている千代・下曽我地区の汚水排水を担う「千代第一号汚水幹線」（約 1.1km）の整備を行っています。

【1 工区工事概要】

工事延長	L=1,134m	管径	φ 400 mm
管種	鉄筋コンクリート管	工法	推進工法

この工事区間には、関口川や小八幡川の大きな河川下など、通常より深い位置に汚水管渠を布設するため、「推進工法」を採用しました。

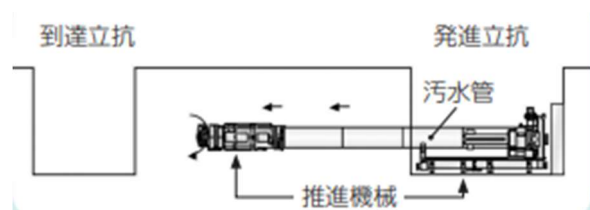


推進工法とは、立坑と呼ばれる深く垂直に掘った穴に推進機械を設置し、短い污水管を地中に発進させ、押し込みながら1本ずつつなぐ施工手順となるため、道路を長期的に掘削しないことから、交通規制や騒音、振動、粉じんの発生など、沿道家屋に与える影響を抑えることが可能です。

この工法は、交通量の多い道路をはじめ、鉄道の軌道下や河川下など、地表を掘削して污水管渠を布設する一般的な「開削工法」が困難な場合に採用されます。今後も、地域住民の皆様に配慮しながら、安全・安心を最優先に工事を進めます。



【立坑内を上から見た様子】



【推進工法模式図】

3 未普及解消に向けて

市では、現在整備している千代第一号汚水幹線をはじめ、市街化区域内に点在する未普及解消への取り組みも進めています。下水道は、各家庭などの排水が汚水管渠に接続されることで、適切に処理されます。地域の生活環境の改善や、水路の水質保全に向けて、各家庭からの排水を公共下水道へ接続いただきますよう、ご理解とご協力をお願いします。

4 下水道管路の維持管理

下水道施設の老朽化や技術職員数の減少など、さまざまな課題に対応し、将来的にも持続可能な下水道事業の運営を継続するため、令和4年（2022年）11月から、市民サービスの向上及び業務の効率化を図ることを目的に下水道管路包括的維持管理業務※を導入し、民間事業者の体制やノウハウを活用して、市民等の通報受付から現場対応までをワンストップで行っています。

※下水道管路包括的維持管理業務

従来、個別に発注していた下水道管路の維持管理に関する各種業務（管路の点検、調査、清掃、修繕等）をパッケージ化して複数年度で委託することにより、業務の効率化等を図る契約形態。

5 下水道管路の点検・調査

令和7年（2025年）1月28日に埼玉県八潮市で下水道管の破損に起因する道路陥没事故が発生しましたが、本市においては、令和4年11月からの下水道管路包括的維持管理業務により、下水道管内の損傷度合を詳細に把握するため、定期的に目視点検のほか、テレビカメラ調査を実施しています。



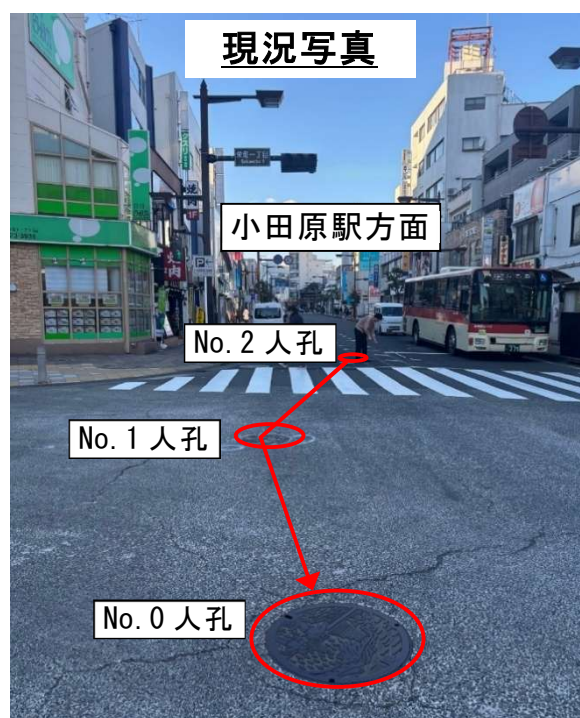
【テレビカメラ調査作業状況】



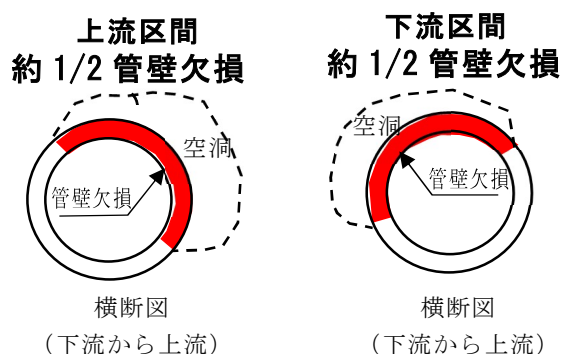
【目視による点検】

令和7年12月26日には、当該維持管理業務により、栄町一丁目交差点にある下水道管路等の点検及び清掃を行ったところ、ヒューム管φ300mmの上部破損を確認し、下流区間の上部破損も確認されたことから、緊急工事（令和8年

1月25日から2月13日まで）を行い、未然に道路陥没を防止しています。なお、近隣住民の皆様のご協力により、舗装復旧も含め工事は完了しています。



【管路内状況図】



【布設替え状況】

6 小田原市下水道施設包括的維持管理業務について

下水道管路包括的維持管理業務は、令和9年（2027年）3月までの業務期間となり、今年度が最終年度となります。これまでの業務実績を踏まえ、令和9年4月からは、下水道管路に加え、新たに中継ポンプ場等の下水道施設も含めた「下水道施設包括的維持管理業務」を予定しており、引き続き、市民の皆様に安全・安心な下水道サービスを提供していきます。

こうげい エキスポ KOUGEI EXPO in KANAGAWA 及び 小田原・箱根「木・技・匠」の祭典について

1 概要

小田原・箱根地域では、豊かな自然の恵みと、城下町・宿場町として栄えた歴史の中で、さまざまな産業が育まれてきました。特に、木製品は千年以上の歴史を有し、多種多様な木工技術が集積しています。

本年 11 月には、全国の伝統的工芸品産業などが一堂に会する「KOUGEI EXPO」（第 43 回伝統的工芸品月間国民会議全国大会）が、神奈川県で初めて開催されます。10 月には、そのプレイベントとして、小田原・箱根「木・技・匠」の祭典が行われます。

2 小田原・箱根地域の伝統的工芸品

「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づき、経済産業大臣の指定を受けた伝統的工芸品は全国で 244 品目（2025 年 10 月現在）ありますが、そのうち、神奈川県の伝統的工芸品は小田原漆器、箱根寄木細工、鎌倉彫の 3 品目です。

小田原漆器や箱根寄木細工等は、長い年月にわたって地域の職人が技術を受け継ぎ、日常の暮らしの中で使われてきた工芸品です。神奈川県で「KOUGEI EXPO」が開催されるこの機会に、小田原の誇るものづくりの価値や魅力を広い世代に発信していきます。

（1）小田原漆器（昭和 59 年 5 月 伝統的工芸品指定）

平安時代に早川の地でろくろ（木材を回転させる道具）を回しておわんを作る「木地挽（きじひき）」が行われたという言い伝えがあり、室町時代には、木地碗（きじわん）に漆を塗り、耐久性を持たせるようになりました。

小田原漆器は、木目が美しく、硬くて丈夫なケヤキの木を使い、自然の木目を生かした塗り方が主流です。小田原漆器は素朴な塗りの物が多く、使っていると愛着が湧いてきます。



小田原漆器

（２）箱根寄木細工（昭和 59 年 5 月 伝統的工芸品指定）

江戸時代の終わりの頃から、箱根町の畑宿で作られ始めたといわれています。箱根の山は、さまざまな色彩の樹木が豊富であるため、自然環境と木工技術が融合し、寄木が生み出されました。江戸から明治時代にかけて、木工技術と道具の発展により、組木細工、秘密箱、木象嵌（もくぞうがん）など、多様な木製品と木工技術が生まれました。

箱根寄木細工には、小物入れやお盆など、さまざまな製品がありますので、それぞれの寄木の美しさを楽しめるほか、公共施設やホテルの内装、壁面装飾などにも使われています。



箱根寄木細工

3 KOUGEI EXPO in KANAGAWA 等の開催概要

（１）KOUGEI EXPO in KANAGAWA

日時 11月7日（土）～9日（月） 午前10時～午後5時
（9日は午後4時まで）

場所 パシフィコ横浜

内容 日本各地の伝統的工芸品が神奈川に集まります。

職人による制作実演のほか、工芸品の制作体験や展示販売も行われます。本市は、神奈川県の手芸産地としてPRブースを設置します。

詳しくはこちら ▶



（２）小田原・箱根「木・技・匠」の祭典

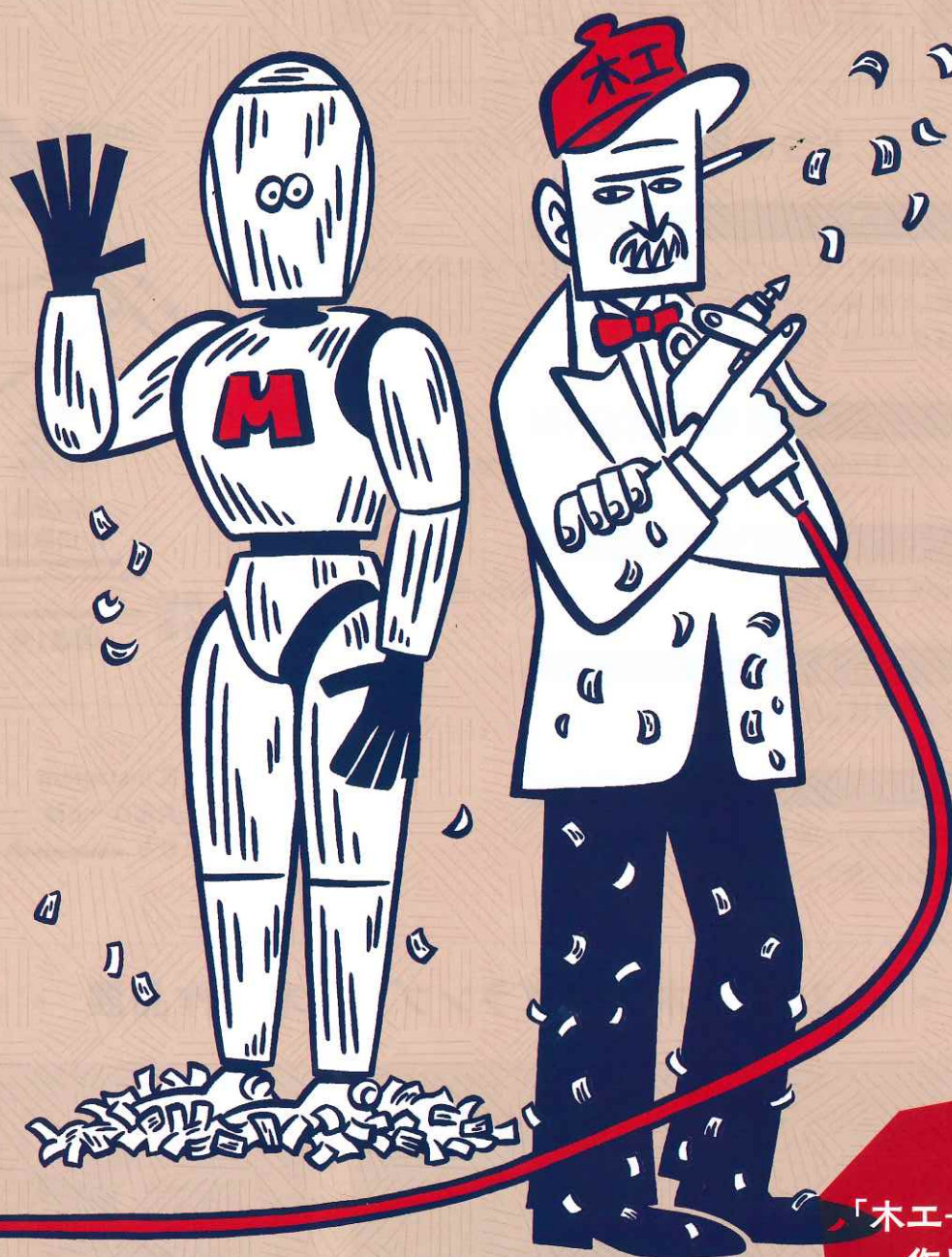
日時 10月10日（土）・11日（日） 午前10時～午後4時

場所 小田原三の丸ホール、市観光交流センター（にぎわい広場含む）

内容 2026「木工-1」グランプリ作品展示、木を使ったものづくり体験、木工製品の販売、小田原・箱根の木工の歴史紹介など

手しごとで、時代を切り拓く

「木・技・匠」の祭典



小田原・箱根

2026
「木エ-1グランプリ」
作品展開催!

171点展示

親子で楽しめるワークショップや

展示も盛りだくさん♪

10月10日(土)・11日(日)
10:00~16:00

会場：小田原三の丸ホール

入場無料

主催：小田原・箱根「木・技・匠」の祭典実行委員会

共催：神奈川県伝統的工芸品月間推進協議会

後援：神奈川県／小田原市／箱根町／南足柄市／小田原箱根商工会議所／神奈川県工芸産業振興協会

一般社団法人小田原市観光協会／公益社団法人神奈川県観光協会

一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会／箱根DMO(一般財団法人箱根町観光協会)

見て・ふれて・体験する 木の魅力が大集合！
小田原・箱根「木・技・匠」の祭典

\\\\\\\\ 5つの見どころ！ \\\\\\\\

1 2026「木工 -1 グランプリ」

今年は「温故創新」をテーマに、職人たちが現代のライフスタイルに調和する新しい木製品づくりにチャレンジ！
受賞作品を含めた全 171 点を展示・販売します。

2 ワークショップ「たくみの広場」

大人から子どもまで楽しめる木を使ったものづくりを体験できます。

3 木と技の木工 marché

地元職人が木工製品を販売します。お気に入りの作品に出会えます。

4 からくり箱体験

からくり箱の不思議な仕組みを体験できます。

5 小田原箱根 木工アーカイブ

小田原・箱根の木工の歴史と歩みを紹介。
貴重な資料なども展示します。

 会場までのアクセス



公式 Instagram
二次元コードは
こちら 



★ ★ ★ 2026「木工-1グランプリ」木工作品展 ★ ★ ★



グランプリ 作品名「質感1」



準グランプリ 作品名「葉っぱ皆敷」



準グランプリ 作品名「ARCH 濃淡」